

なかやかんきょうほぜんくみあい

## 中谷環境保全組合（小谷村）

・組織の活動面積	A=	15.3	ha
・組織の構成員数	約	25	人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 ■	向上活動 □
取組開始年度	平成19年～	平成14年～	—

構成員	農家、非農家、中谷開発委員会、中谷郷が元気になる会
-----	---------------------------

### 組織の概要

中谷環境保全組合を立ち上げ、一番の活動成果は15集落を越えた付き合いができ『地域の輪』『地域の絆』が生まれ、地域集落ぐるみで取り組んでいます。

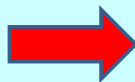
平成22年から、道の駅小谷と連携して収穫した「あきたこまち」を使って、郷土の秀峰「雨飾山」と名付け販売、また「中谷郷の旬味わってください」夏の旬パック、秋の旬パックをオーナー限定で、中谷郷で採れた野菜を届ける事業を実施しております。

今後の活動としては、今までは、田植え・草刈り・稲刈り・脱穀などお膳立てした所への参加でしたが、これからは、どっぴり山里に浸って、昔ながらの米作りを学べる「棚田の学校」(仮称)や毎回参加できる「棚田1日体験」などを取り入れ、また、棚田のオーナー制度を柱に中谷地域に伝わる民俗芸能やお年寄りの持っている技の伝承、更には「奥山で採る山菜から里山で育てる山菜」をキャッチフレーズに次世代に伝える資源財産として若い世代に残す活動をしたいと考えております。

### 集落を越えた『地域の輪』『地域の絆』



復旧前の荒廃農地



復旧後の棚田



棚田オーナー



復旧した棚田で棚田オーナー制度に取り組んでいます。また、収穫したお米を使い、地域の特産品づくりにも一役買っています。



地元のお米が雨飾山という名のお酒に



草刈り、農道補修、水路の補修、電柵の設置など農地の維持管理に地域ぐるみで取り組みます。

